

平成29年度
香川大学 COC 事業評価報告書
(外部評価)

平成30年9月

外部評価委員会 実施概要

日 時：平成30年9月12日（水） 13：30～14：50

場 所：香川大学 大学本部3階第1会議室（高松市幸町1番1号）

外部評価委員：計6名（○：委員長、順不同・敬称略）（ほか本学より14名陪席）

○ 益川 浩一（岐阜大学地域協学センター・センター長・教授）

桑井 弘之（四国新聞社・編集局長）

山地 耕太郎（香川県商工会連合会・専務理事）

田尾 博明（(国研)産業技術総合研究所四国センター・所長）

栗田 隆義（まんのう町・町長）

代理出席：栗田 昭彦（同町・副町長）

工代 祐司（香川県教育委員会・教育長）

次 第：

開会

香川大学長挨拶

委員紹介

委員長選出

審議：平成29年度香川大学COC事業の実施状況及び目標達成状況について

講評

閉会

配布資料：

【当日配布資料】

- ・平成29年度香川大学COC事業外部評価委員会次第
- ・平成29年度香川大学COC事業外部評価委員会配席図
- ・香川大学COC事業外部評価委員会委員名簿

【事前配布資料】

- ・資料1 香川大学COC事業評価実施要領
- ・資料2 平成28年度香川大学地(知)の拠点整備事業(COC事業)評価(外部評価)「講評」に対する平成29年度対応について
- ・資料3 平成29年度香川大学地(知)の拠点整備事業(COC事業)評価報告書(内部評価)
- ・資料4 平成29年度香川大学COC事業自己点検・評価報告書
- ・資料5 香川大学サテライトセミナー実施状況(H24-H29)
- ・資料6 平成29年度COC事業(地域志向科目)授業アンケート結果
- ・資料7 香川大学COC事業外部評価委員会規程
- ・資料8 平成29年度香川大学COC事業評価表(外部評価)
- ・参考資料 香川大学地域連携ニュースレター「せとうち」

講 評

○ 総 括

内部評価報告書（資料1）、自己点検評価（資料2）、委員会における事業報告および質疑応答を基に議論し、平成29年度香川大学のCOC事業は概ね計画どおり実施されたと評価した。各事業の継続実施は、COC事業の目的達成に貢献するものである。また、KPI達成も含めて5年間を通じて十分な成果が得られたと評価するものである。

○ 教育分野

幅広く多様な分野で教育プログラムが進められている。今後も地域ニーズの高いテーマを捉えながら、地域の課題解決に向け、さらに発展性・多様性を持って教育プログラムを展開していくことが期待される。教員の研究との連動や各学部における事業展開など教育プログラム充実に向けての取り組みが望まれる。

また、平成29年度から全学必修のe-learning科目を新規開講した点は、非常に評価できる。全学必修科目として、さらなる質の向上、内容の充実を図ることが期待される。

さらに、幅広く重要なテーマで学生が学びを深めているため、毎年度継続性を持ってテーマに取り組めるような仕組みづくりが求められる。具体的には、当該年度で課題として残った事項について、次年度に新たな受講生を迎えて取り組むなど、テーマ・取り組みの継続性を図りながら発展させていくことが望まれる。

○ 研究分野

希少糖関連事業、医療・福祉関連事業を中心に非常に充実した取り組みであり、高く評価できる。さらに、今後は研究成果の見える化を進め、地域の課題解決に貢献している研究が進んでいる等、エビデンスも含め成果が見える形で地域に還元することに重点を置くことを期待する。

○ 社会貢献分野

サテライトオフィスの設置数は目標に達しなかったが、着実に数を増やししながらサテライト機能が県内に広がっており、評価できる。

今後、サテライトオフィスにおいて、地域の方々と共に地域課題の解決に向けて学びあえるコンテンツを充実することが期待される。

○ 全体運営分野

事業の継続性の担保に向けて、組織が一本化され、教員を継続配置する等、組織体制の強化が図られていると評価した。予算措置にも配慮することで、事業がさらに継続発展することを望む。さらに、事業とその成果の学内外での情報発信は、事業の意義を広く周知する機会となるため、広報活動を一層強化していただきたい。

以 上